学校番号	412

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習ⅡBC	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には各回で扱う単元の基礎知識を事前に復習し，理解してから臨むようにしましょう。
　特に，各単元の CHECK 問題や STEP 問題は何も見ずに自力で解いておいてください。
・授業中は板書を書き写すだけではなく，授業のポイントや自分が気付いたことをノートの枠外にメモをとる習慣を身につけてください。
・授業を受けた後は授業内で得た知識を定着できるよう意識して復習しましょう。
　授業内容等でわからないところがあれば，気軽に質問に来てください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学Ⅱ・数学Ｂ・数学Ｃの基礎知識を身につけ，それらを用いた計算を正確に行うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
客観方式の問題に慣れ，問題に対してどの基礎知識を用いるのかを判断できる能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
問題を解けるだけではなく、問題を解く過程において数学のよさを認識し、数学的論拠まで理解できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・具体的な問題演習を通して各単元の概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身につけている。	・日常の事象や社会の事象を数式や表・グラフを用いて数学的に表現することができる。 ・問題文を読解し、事象を数学的に考察したり，問題解決のためにどの基礎知識が適切であるかを判断したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	複素数と方程式	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a: 複素数, 剰余の定理, 因数定理について理解し, 多項式の除法や因数分解に応用することができる。高次方程式を, 因数分解や因数定理を用いて解くことができる。 b: 剰余の定理を応用して, 多項式を 2 次式で割った余りを考察することができる。与えられた虚数解をもつ高次方程式を考察することができる。因数定理を利用するなどして, 方程式の解を考察することができる。 c: 高次方程式について学んだことを振り返り, 発展的に考察を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
	図形と方程式	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a: 図形と方程式に関する基礎知識を理解し, さまざまな図形の方程式を求めることができる。 b: 図形の方程式の基礎知識を用いて問題の考察ができる。 c: 図形と方程式で学んだことを, 日常の事象の問題解決に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	三角関数	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a: 指数関数，対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。それぞれのグラフの特徴を利用して，数の大小を比較することができる。表の観察や他のグラフとの比較を通して考察することができる。 b: 指数関数，対数関数の性質を利用し，関数を含む方程式や不等式を解くことができる。 c: 指数関数，対数関数の学習を振り返り，考察を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
2学期	指数関数と対数関数	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a: 指数関数，対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。それぞれのグラフの特徴を利用して，数の大小を比較することができる。表の観察や他のグラフとの比較を通して考察することができる。 b: 指数関数，対数関数の性質を利用し，関数を含む方程式や不等式を解くことができる。 c: 指数関数，対数関数の学習を振り返り，考察を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	微分法と積分法	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:微分法，積分法を基礎的な計算ができる。また，計算のルールの意味を理解する。それらの計算を利用して，関数のグラフや面積を求めることができる。 b:学習したことを用いて。関数の局所的な変化に着目し，微分法を利用して日常の事象の問題を解決することができる。積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 c: 微分法，積分法について学んだことを，日常の事象の問題解決に生かそうとしている。方程式・不等式に関数を関連付けて，微分法，積分法について学んだことを方程式・不等式の考察に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	数列	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a: 数列の性質について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。数学的帰納法について理解している。 b: 事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用することができる。自然数の性質を見いだし，数学的帰納法を用いて証明するとともに，他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 c: 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	統計的な推測	1. 単元の基礎知識確認 2. 共通テスト対策 問題演習	a:母平均，母分散，母標準偏差を求めることができる。標本平均が条件を満たす確率を，正規分布を利用して求めることができる。母平均に対する信頼区間の意味を理解し，母平均を推定することができる。信頼区間の考え方を利用して，母比率を推定することができる。仮説検定の考え方や用語について理解し，棄却域について考察したり，母平均に関する主張について片側検定や両側検定をしたりすることができる。 仮説検定の考え方を利用して，母比率に関する主張について仮説検定することができる。 b:母集団分布と標本分布の関係に着目して，標本平均の平均や標準偏差，標本平均の分布の特徴について考察を深めることができる。目的に応じて必要となる標本の大きさを区間推定の方法をもとに計算して標本調査を設計することができる。 仮説検定の考え方を利用して，日常の事象に関する標本調査の方法や結果について批判的に考察し，問題を解決することができる。 c:統計的推測について学んだことを，日常の事象の問題解決に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度
3学期	総まとめ	共通テスト形式の 総合問題演習	a:基礎知識を用いた計算を正確に行うことができる。 b: 問題文の意味を理解し、どの単元の問題であるか考えることができる。 c:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	定期考査 小テスト	小テスト 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

	総まとめ	共通テスト形式の 総合問題演習	a:基礎知識を用いた計算を正確に行うことができる。 b: 問題文の意味を理解し、どの単元の問題であるか考えることができる。 c:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	小テスト	小テスト 提出課題 発問評価	提出課題 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度